

インスティネット証券会社

トレーディングの業務インフラをPCからブレードワークステーションに刷新
標準化と集約化で管理効率を高め、併せてデータセキュリティを強化
さらにPCの排熱やノイズの問題を解消し、業務の快適性を大幅に改善



INSTINET

機関投資家向け電子ブロッククロッシングサービスの草分けインスティネット (Instinet Incorporated)の日本法人、インスティネット証券は、アルゴリズム取引など先端的手法の電子執行サービスで業績を伸ばすエージェンシーブローカー。国内 PTS ライセンスを取得し、一般市場外取引のプラットフォームを提供している。オフィス移転を機にトレーディング業務のインフラとして HP Blade Workstation ソリューションを採用。従来トレーダー達を悩ませていた PC ノイズや熱の問題を解消し、データセキュリティ、システム管理効率にも成果を挙げている。

目的

- トレーディング業務のインフラを PC からブレードワークステーションに移行させ、セキュリティ、管理性、パフォーマンス、ユーザビリティを抜本的に改善

アプローチ

- HP ProLiant xw460c Blade Workstation 60 枚をサーバールームに設置
HP dc73 Blade Workstation クライアント 35 台をトレーダーデスクに設置
- デスクトップのシンクライアント1台に Blade Workstation 2 枚を割り当て、不測時にもシステム継続できる環境を構築
- HP ProLiant Essentials Rapid Deployment Pack(RDP) により、複数のクライアントへの OS、パッチ、アプリケーションの展開を自動化

システムの効果

- PC のノイズ、排熱の問題を解決し、デスクトップの快適性を劇的に改善
- データの不法な移動など、セキュリティリスクを解消
- システム故障や不具合などによるトレーディング業務中断を防止
- クライアントの標準化と集約化により管理効率が大幅に向上

ビジネスへの効果

- 執行サービス業務の継続性を強化
- データセキュリティ強化により顧客の信頼性確保
- 熱対策にかかるコストの削減、CO2 排出削減
- システム管理の労働コスト削減

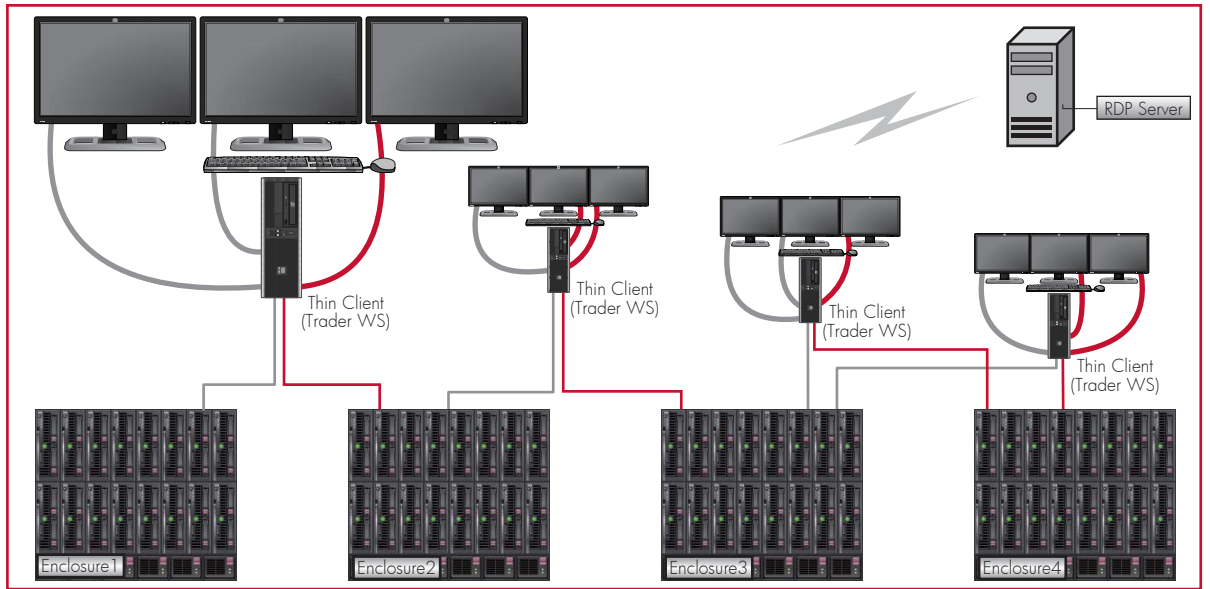


業界最先端のエージェンシーブローカー

1969 年設立のインスティネットは、1997 年に米国で機関投資家向けの ECN/ クロッシングサービスを、2007 年にはバンヨーロピアン MTF を、世界に先駆けて開始したこの業界の草分けの企業。ニューヨーク、東京だけでなく、トロント、ロンドン、パリ、チューリッヒ、香港、シンガポール、シドニーなど、世界の主要都市で事業を展開し、顧客数は 1,500 以上を数える。

世界 40 ヶ国、80 超の取引市場に電子アクセスする自社開発の執行管理システムやスマートトレーディング、アルゴリズム、DMA、ダークプールといった電子取引商品、アジアトップ規模を誇る JapanCrossing™ や KoreaCross™、CBX® Asia といったプラットフォームの提供を通じ、市場外取引の流動性を供給する。2007 年 2 月、同社は野村ホールディングスによる買収を受け、野村グループの傘下に入った。

インスティネット証券はその日本法人で、オフィス移転に伴い、トレーディング業務のインフラを一新させた。ノイズや排熱などユーザビリティの問題を抱えていた PC 環境を一新し、データセキュリティ、管理効率、そしてデスクトップの快適性を高めるシステム環境に移行。選ばれたのは HP Blade Workstation ソリューションである。



トレーディングの業務環境を改善

インスティネット証券のメイン業務は機関投資家向けに行うブロック取引の執行サービスだ。クロッシングネットワークの基幹システムを通じて、証券会社などから届くブロック取引の注文を高度な IT とトレーディング手法を組み合わせ的確に処理していく。

当然、トレーダーたちのマシンには高いパフォーマンスと安定性が期待される。自社開発の執行管理システムをはじめ取引を支える各種アプリケーションが、一刻の中断なく正常に稼働することが必要条件となるからである。

これまでその大役を担ってきたのは、スペックもまばらな複数の PC だった。各トレーダーはデスクの下に平均 4、5 台の PC を抱え、デスク上にはマルチディスプレイを操作するキーボードが所狭しと並んだ。トレーダーごとに設定の好みも違うため、サポートにも骨が折れたが、なによりも問題だったのは、業務環境だ。

「まるでヒーターの上に腰かけて仕事をしているようでした」と同社代表取締役のジョエル・ノエル氏は冗談交じりに話す。複数の PC から生じる熱がデスク周辺に籠り、デスク下に取り付けた臨時の小型ファンで散らしてもまだ暑かったという。また、熱だけでなく、PC やファンのたてるノイズや、キーボードで埋め尽くされたデスク環境も悩みの種だった。

香港オフィスが最新ソリューションを導入

折しもオフィス移転の話が持ち上がり、トレーディングフロアの環境改善の好機が訪れた。しかし問題は、そのための最善のソリューションは何かということだ。「初期投資のコストやシステム構築の手間などを考えれば、従来通りの構成でマシンだけアップグレードするという選択肢もありました。しかし、それでは根本的な解決にはなりません」とノエル氏は振り返る。

ちょうどそのころインスティネットの香港オフィスがトレーディングフロアに最新システムを導入した。そのソリューションは、シンクライアントとブレードワークステーションでクライアント環境を一元的にまとめながら、同時に安定したパフォーマンスを供給するという。

ノエル氏は、早速タチアナ・ユドヴスキー情報技術本部長を訪ねそのソリューションの調査を依頼した。オフィス移転まであと 8 ヶ月と迫った 2007 年 11 月のことである。

試験プロジェクトで実効性を評価

香港オフィスが採用したのは数か月前に発表されたばかりの HP Blade Workstation ソリューションだった。これはワークステーションのパフォーマンスとシンクライアントのメリットを同時に提供する最新ソリューションで、主に金融や製造業のハイエンドユーザを中心に浸透し始めている。

翌年 7 月に赤坂 Biz タワーへ移転することが正式に決まり、ユドヴスキー本部長はインフラストラクチャー部長のウルス・リューシュ氏にその実効性の検証を早急に進めるよう指示した。「トレーディング業務の環境改善は大切ですが、セキュリティ、安定性、そして管理効率も重要なポイントです」とユドヴスキー本部長は語る。

これを受けリューシュ氏は、日本 HP に協力を要請、必要なハードウェアを借り受け、小規模な評価プロジェクトを開始する。

「8 スロットのエンクロージャに 4 枚の HP Blade Workstation を収め、2 人のトレーダー用にそれぞれ日本語と英語のトレーディング環境を構築しました」とリューシュ氏は説明する。各自のシンクライアントには 2 枚のブレードを割り当て、故障時には自動で切り替わるかたちにした。

プロジェクトの結果、このソリューションがパフォーマンスやデータセキュリティの課題をクリアしながら、業務環境も大幅に改善することが実証された。「デスクはすっきりし、熱やノイズの悩みもなくなりました。キーボード一台でマルチディスプレイを使い分けられます」

決定から 3 ヶ月で本格稼働

これを受け正式に HP Blade Workstation 導入が始まる。オフィス移転まで残された時間はわずか 3 ヶ月。システム構築やアプリケーション構成を考えると、もはや一刻の猶予も許されない。そこでリューシュ氏は期日に間に合わせるため日本 HP に協力を要請する。「インスティネットは本来、システム構築や技術開発を自社で行いますが、今回のように時間がない状況では、やはり手助けが必要です」

依頼を受けた日本 HP は即座にリューシュ氏のもとに専門エンジニアを派遣した。「やってきたエンジニアはソリューションを熟知していました」とリューシュ氏は話す。「とくにアプリケーションの自動展開に欠かせない RDP (Rapid Deployment Pack) のアーキテクチャで悩んでいるところだったので、彼ら



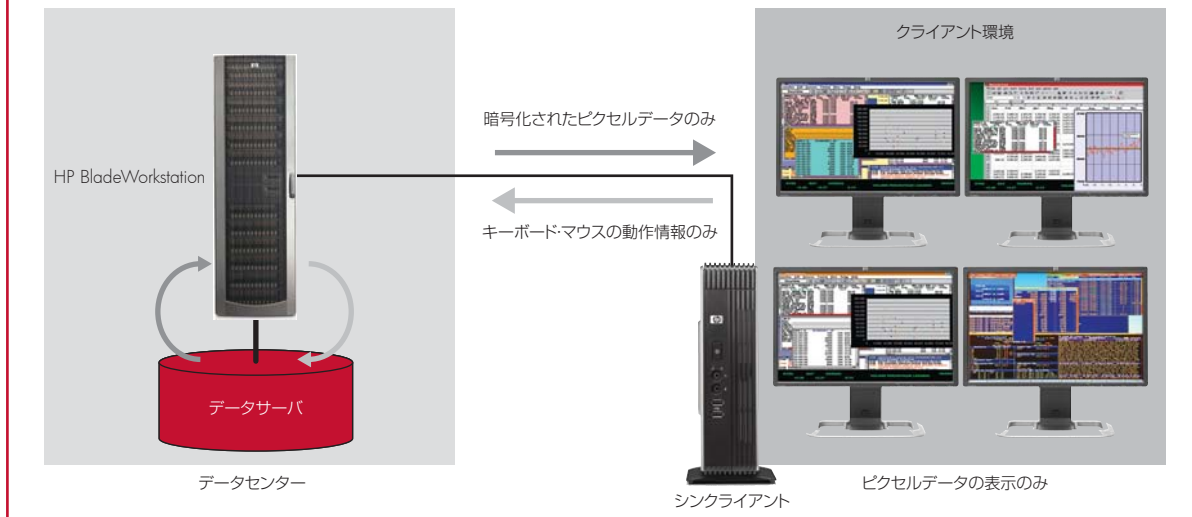
代表取締役 東京支店長
ジョエル・ノエル 氏



情報技術本部長
タチアナ・ユドヴスキー 氏



情報技術本部長
インフラストラクチャー部長
ウルス・リューシュ 氏



のアドバイスが大変役に立ちました」

ブレードに OS とアプリケーションがインストールされたのは、引越しのわずか 2 週間前、その後引越当日までシステムの調整は続いた。そして本稼働の日。「たしか火曜日だったと思います。トレーダーたちがやってきて席に座り、仕事を始めました」とリュウシュ氏は振り返る。「障害はビジネスリスクにつながりますので、責任は重大です。緊張して見守っていましたが、結局、何も起こりませんでした。」

こうしてインスティネット証券の新システムは本稼働となる。以前 150 台近くあった PC は 60 枚のブレードに置き換わり、サーバールームの 2 台のラックの中に 4 台のエンクロージャと共にコンパクトに収まっている。トレーディングフロアにかけたの騒音は響かず、暑いという声も聞かれない。デスクは広々と快適だ。

HP Blade Workstation ソリューションの導入効果

HP Blade Workstation ソリューションは、トレーダーたちの業務環境を快適なものに変えただけではない。「運用管理やビジネスの面でも大きなメリットがあります」とユドヴスキー本部長は話す。

・データセキュリティ

まず挙げられるのはデータセキュリティだ。シンククライアントには、フロッピーディスクドライブも CD ドライブもないので、メディアを通じてデータが盗まれる危険性がない。USB の使用も制限できる。また、たとえシンククライアント本体が持ち去られたとしても、そこにデータが存在しないため心配がいらぬ。「データはサーバールームのブレードに収まっています。そこは厳重にアクセス制限されているので、管理者以外近づけません」とユドヴスキー本部長は安全性を強調する。

・グリーンオフィス

もうひとつのメリットは熱対策にかかる空調コストの削減と CO2 排出削減だ。以前は PC から生じる熱の影響を緩和するため、デスク下に臨時的な冷却ファンを取り付けていた。シンククライアントは熱を発生させないため、この冷却ファンは不要になる。結果として室内の空調コストが削減できると同時に CO2 の排出も抑えることができる。

・システム継続性

さらにシステムの継続性というメリットがある。以前はトレーダーの PC に不具合が生じると復旧に多大な時間がかかり、ハードウェアの交換も容易ではなかった。しかし現在はブレードワークステーションを同一構成で標準化しているため、障害時にも自在に差し替えができる。メモリーやパフォーマンスに余裕があるため、アプリケーションの追加も心配無用だ。

・管理効率

クライアントの集約化による管理効率の向上もメリットのひとつ。障害時の復旧はもとより、アプリケーションの自動配信で管理者の作業負担は大幅に軽減された。これは IT スタッフの労働コストの削減も意味する。「クライアントのデスクを訪ねて、いちいち対応しなくても、アプリケーションやパッチのインストールが行えます」とリュウシュ氏は微笑む。



導入ハードウェア

- ・ HP dc73 Blade Workstation
- ・ HP ProLiant xw460c Blade Workstation

導入ソフトウェア

- ・ HP ProLiant Essentials Rapid Deployment Pack

『リーディングエッジ』を排す

インスティネット証券のトレーディング業務環境は、HP の最新ソリューションによって以前とは比べものにならないほど快適なものとなった。


こうした結果にノエル氏は満足げだ。「インスティネットは企業文化として先端技術の導入に前向きです。しかし、新しいものにはメリットと同時にリスクがある。適時に導入すればそれは『リーディングエッジ（業界を先導する先端技術）』となり、早すぎればそれは『ブリーディングエッジ（血を流すことになる最先端技術）』となります。今回の HP ソリューションは『リーディングエッジ』になりました。これからのビジネス展開をインフラとしてしっかり支えてくれるでしょう」

企業プロフィール

本社	インスティネット (Instinet Incorporated)
本社所在地	3 Times Square, 7th floor, New York, NY 10036
代表者	近藤文樹、アンソニー・アベナンテ
事業内容	機関投資家向け委託電子取引をグローバルに取り扱うエージェンシーブローカー
事務拠点	ニューヨーク、ボストン、シカゴ、ロサンゼルス、サンフランシスコ、セントルイス、トロント、ロンドン、パリ、チューリッヒ、東京、香港、シンガポール、シドニー
従業員数	約 800 名
日本法人	インスティネット証券 東京支店
所在地	東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー 36 階
代表者	ジョエル・ノエル
従業員数	約 60 名

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ
03-6416-6660 月～金9:00～19:00 土10:00～17:00 (日、祝祭日、年末年始および5/1を除く)
HP ワークステーション製品に関する情報は <http://www.hp.com/jp/workstation>

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
記載事項は 2008 年 12 月現在のものです。
本カタログに記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。
© Copyright 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本カタログは、環境に配慮した用紙と植物性大豆油インキを使用しています。 



日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒102-0076 東京都千代田区五番町 7番地